

平成20年度再評価

9. 路線名：一般県道 大詫間光法停車場線

事業名：地域自立・活性化交付金事業

事業目的

佐賀市川副町
大詫間



佐賀市光法

交流を支えるために重要な道路
観光に資する道路

しかし、現道は…

幅員が狭いことから、車や自転車歩行者の通行に支障

よって、改良により

交通の円滑化と交通安全を確保
生活圏間の交流を支え、観光振興に寄与する

現道状況

混雑状況



混雑状況



未整備箇所は、幅員狭小で歩行者が危険にさらされている。

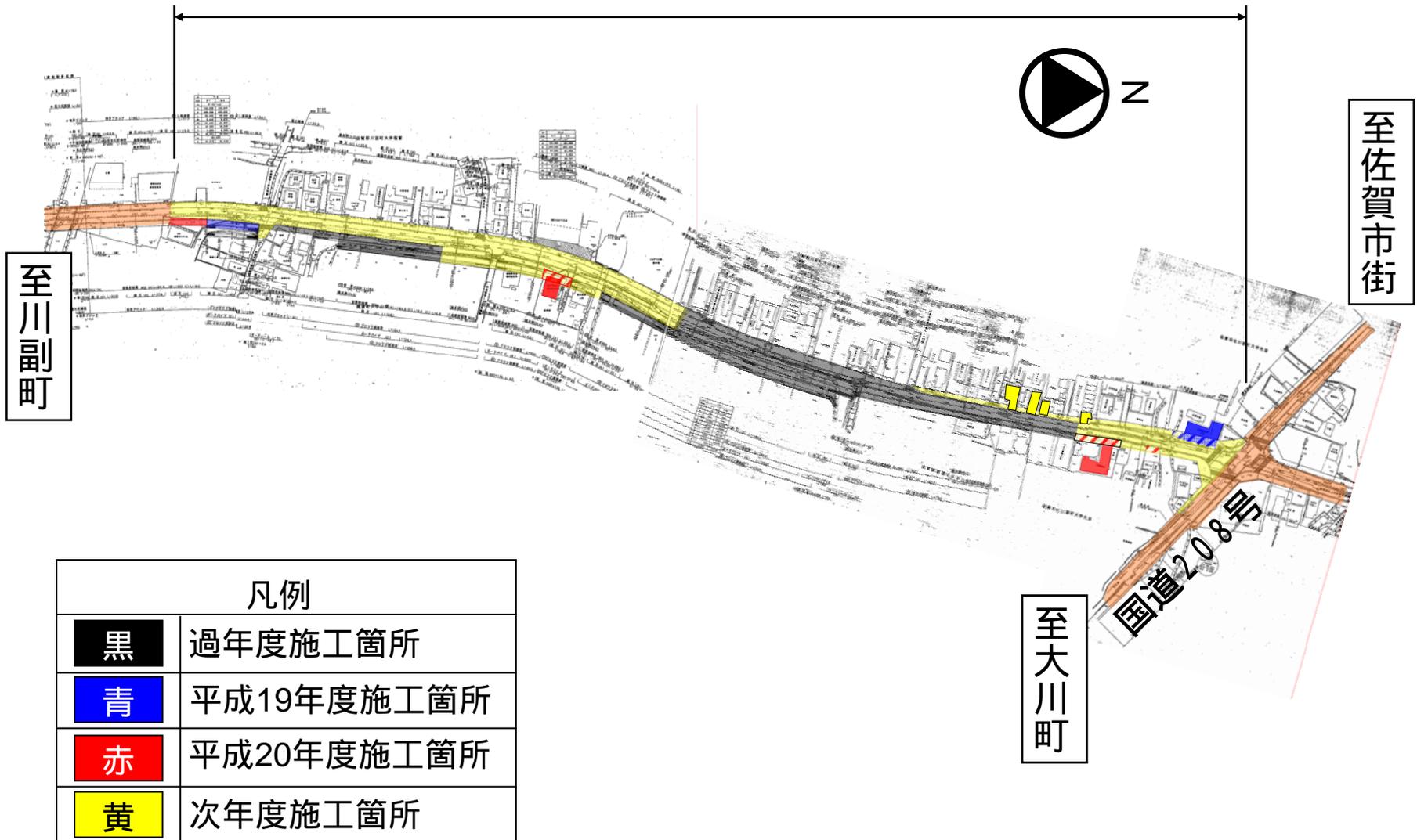


事業概要

- 全体事業費：16.2億円
- 工期：平成7年度～平成24年度(予定)
- 全体延長：L = 730m
- 事業内容：改良工 L = 730m
 - 用地買収 6,216m²
 - 家屋補償 20戸

一般県道 大詫間光法停車場線 平面図

全体延長 L=730m



事業の進捗状況

	平成19 年度まで	平成20 年度	平成21 年度以降
事業費(億円)	10.8	1.2	4.2
進捗率(%)	66.7	73.8	100
用地進捗率 (%)	61.7	66.7	100

- 用地買収は、6,216㎡のうち、5,242㎡が契約済みである。
- 家屋補償は、20戸のうち、15戸が契約済みである。
- 工事は、326mを概成している。

完了区間



工事未着手区間



事業の効果

- 【便益】

走行時間短縮便益 = 251.3億円

走行経費縮小便益 = 9.0億円

交通事故減少便益 = 2.2億円

合計 262.7億円

- 【費用】

事業費 = 17.9億円

維持管理費 = 0.7億円

合計 18.6億円

- 再評価時費用便益比 = $262.7 / 18.6 = 14.1$

今後の対応

- 有明海沿岸道路の大川中央IC～大牟田IC間が全線暫定供用(平成21年春予定)されれば、交通量の増大が予想される。
- 当該箇所については、依然として危険な状況が解消されていないため、事業を継続し交通の円滑化と交通安全の確保を図る。